

平成19年度産業保健調査研究倫理審査委員会議事概要

日時 平成19年5月9日(水) 13:30~16:00

場所 独立行政法人労働者健康福祉機構 第1会議室

出席委員(6名)

- 櫻井治彦(委員長)
- 石井妙子(人文・社会科学有識者)
- 石上尚弘(人文・社会科学有識者)
- 野村和弘(医学・医療の専門家)
- 関原久彦(医学・医療の専門家)
- 松村芳美(一般の立場)

欠席委員(0名)

議題

- 1 倫理審査の趣旨と判定
- 2 平成19年度産業保健調査研究課題の倫理審査

議事要旨

- 1 倫理審査の趣旨と判定
産業保健調査研究倫理審査委員会設置要綱及び同実施要領に基づく審査事項及び判定区分について事務局から説明した。
- 2 平成19年度産業保健調査研究課題の倫理審査
31の推進センターから提出のあった29課題(共同研究1、個別28)について審査を行い、以下のとおり判定した。

承認する(22件)

センター テーマ

- ・宮 城 宮城県内の看護職による事業所・宮城産業保健推進センター・地域行政・大学のネットワーク構築とその成果に関する研究 - 生活習慣病予防対策に焦点を当てて -
- ・秋 田 「セルフケア」としてのストレス対処法の実践状況と研修・指導のあり方に関する研究
- ・福 島 福島県の事業所における喫煙の実態と禁煙・分煙対策の実施状況

- ・群 馬 中小事業所の経営者におけるメンタルヘルスの意識調査
- ・東 京・神奈川・千葉（共同研究）
中小規模事業場における主体的な健康職場づくりの推進・普及に向けて - 多様な地域資源を活用した支援モデルの開発とその効果検証 -
- ・千 葉 千葉県内事業所の衛生管理者の活動実態とその活性化に向けた千葉産業保健推進センターの活動強化指針の作成
- ・新 潟 単身赴任による労働者の生活習慣及び健康への影響
- ・富 山 地域・職域連携推進に関わる基礎的研究 - 地域・職域協働保健事業実践例の分析をとおして -
- ・石 川 雇用形態の多様化に伴う労働安全衛生管理の課題
- ・長 野 産業医と衛生管理者を中心とした産業保健活動活性化の阻害要因と改善策に関する調査研究
- ・岐 阜 精神疾患で休職した労働者に対する職場復帰支援に関する研究
- ・静 岡 派遣労働者の健康管理の実態とニーズに関する研究
- ・三 重 産業医と主治医の連携を強化するための条件整備に関する調査研究 - 特に精神疾患を中心として -
- ・滋 賀 滋賀県下における長時間労働者の面接指導制度の実施状況と課題についての調査
- ・兵 庫 兵庫県内事業場におけるメンタルヘルスケアの構築と活動実態に関する調査研究
- ・和歌山 小規模事業場における上司教育型のメンタルヘルス対策に関する調査研究
- ・鳥 取 事業所における長時間労働とメタボリック症候群の認識や対策に関する調査研究
- ・広 島 長時間労働者に行う面接指導の実施状況とその効果
- ・山 口 山口県における労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）導入前後の労働衛生管理
- ・高 知 職場のメンタルヘルス対策支援体制とその連携に関する調査研究
- ・熊 本 職場改善事例の収集調査とデータベースの構築
- ・大 分 作業関連疾患としての腰痛の現状把握と作業管理、作業環境管理、健康管理の有機的な取り組みによる発症予防の提言

条件付で承認する（7件）

センター テーマ

- ・岩 手 多職種勤労者の過重労働因子と疲労蓄積度に関する調査研究

付帯条件

任意の協力を要請し、その回答を得ることを持って同意を得たとみなせることから、同意の署名は求めないこと。

- ・大 阪 50人未満の事業所における長時間労働者の面接指導の効果的な推進対策

付帯条件

アンケート調査に際しては、研究の意義、目的、個人情報の保護の方法、研究者名等について文書で説明すること。

- ・愛 媛 労働衛生管理体制および活動状況調査

付帯条件

アンケート調査に際しては、研究の意義、目的、個人情報の保護の方法、研究者名等について文書で説明すること。

- ・福 岡 女性労働者の月経周期と閉経に伴う諸症状が労働のあり方と健康に及ぼす影響
(その2) - 女性労働者の快適職場環境づくりのための産業保健活動支援チェックリストを用いた介入研究とその成功事例の作成 -

付帯条件

アンケート調査に際しては、研究の意義、目的、個人情報の保護の方法、研究者名等について文書で説明すること。

- ・北海道 健康診断データの有効利用に関する研究 - 特に事後指導の効果、費用効果分析について -

付帯条件

推進センターのホームページ等で、研究の意義、目的、方法、個人情報の保護方法、研究者名を含め情報公開するとともに、健診機関の協力を得て、当該機関のホームページ等でも同様の措置を講ずること。このとき、問い合わせ苦情等の窓口の連絡先を掲げること。

- ・徳 島 徳島県の職域集団における糖尿病の頻度分布ならびに危険因子に関する研究

付帯条件

- 1 推進センターのホームページ等で、研究の意義、目的、方法、個人情報の保護方法、研究者名を含め情報公開するとともに、健診機関の協力を得て、当該機関のホームページ等でも同様の措置を講ずること。このとき、問い合わせ苦情等の窓口の連絡先を掲げること。
- 2 症例対照研究では研究対象者からインフォームド・コンセントを文書で受領すること。

- ・茨 城 「うつ病」以外の精神疾患にも対応した職場復帰マネジメント手法の確立に関する調査・研究

付帯条件

- 1 診断書を書いた主治医と患者からのインフォームド・コンセントを受領すること。
- 2 公表に際し、労働者、主治医、事業場がそれぞれ特定できないように加工すること。